## 平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事	務事業名		人権文化祭開催事業	担当部署		健康福祉部 人権推進課 人権福祉センター 課(室)
総	合計画体系			根拠流	去令	鳴門市人権条例・鳴門市隣保館
	基本政策(大項目	1) 2 ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			など	条例
	政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると		開	昭和 ▼ 49 年度
	(小項目)		人権	事業	始	昭和   ▼   49 年度
	施策	1	人権の尊重	期間	終	未定    ▼
	基本事業	1 人権行政の推進			期	术是

◎事業概要(PLAN)

	事業	誰(何)を対象に	☑個人  □世帯  ☑団体	√ ₹0.	)他 [	内部管	管理			
	対象	証(例)を対象にしているか	市民、行政機関、学校、企業、団体など							
	事業 目標	にしたい(目指す)のか	保育所、幼稚園、小・中・高等学校、社会福祉法人、NPO法人、市民及び行政による人権問題に関する作品の展示や講演会などを通じて、市民に人権問題の存在とその解消に向けた取り組みや人権尊重の大切さを理解し行動していただくことにより、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題が解消されるとともに人権が尊重されるまちづくりに取り組む。							
		事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
	成果 目標		人権文化祭来場者数	7,300	7,300	9,200	9,300	9,400	人	

◎実施結果(DO)

	⊎关旭桁未(DO)											
事業実施内容	24年度は目標を達成			11月10日から18日までの期間を中心に人権福祉センター・川崎会館・立岩集会所などで開催し、広報なると・テレビ鳴門・徳島新聞などの報道機関による周知、郵便局やコンビニエンスストアなどへのチラシ配布などを通じ、市民に参加を呼びかけるとともに、市内4校、1幼稚園に見学バスを配車し、児童・生徒の見学を募った。また11月14日には、大麻中学校の人権劇の上演や落語家・林家花丸さんによる記念講演会を開催し、その後、5小中学校・キョーエイ鳴門駅前店4階・図書館・文化会館等で移動展を行った。								
事	業	実	施手法	☑ 市実施 □ 一部委託 □ 委託 □ 補助金 □ その例						その他		
	指標名					23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位	
活動指 実施した事	標業	1	人権文化祭	展示作品数		1,931	1,772	2,100	2,100	2,100	件	
の活動量を す指標		2	人権文化祭詞	講演会来場者数		110	190	150	150	150	人	
成果指対象にどのうな効果が	よ	人	権文化祭来均	易者数		6,690	9,011	1	1	-	人	
あったか示 <sup>・</sup> 指標	g		目標達	成率(実績/目標	Į)		123.4	-	-	_	%	

	=	コスト分析	23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位
事業費 (財源内訳の合計)			749	770	893	893	893	
		五	0	0	0	0	0	
		県	728	438	670	670	670	千円
	財源 内訳	地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	21	332	223	223	223	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)			10,082	7,733	7,733	7,733	7,733	
Γ	人件 費	正規職員(6,721千円/人)	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1
	内訳	臨時職員等(2,023千円/人)		0.5	0.5	0.5	0.5	人
総事業	費	(事業費と事業にかかる人件費の合計)	10,831	8,503	8,626	8,626	8,626	千円

【事務事業名:人権文化祭開催事業】

◎平成25年の実施状況(DO')

現在の実施状況

現在は予定通りでの進捗状況であるが、川崎幼稚園、川崎小学校が閉校したのに加え少子化の影響もあり、出展作品数が減少しつつある。また、マンネリ化による参加者の減少が懸念されており、24年度はNPO法人や社会福祉法人の作品も加えることで文化祭の内容を充実させた。また参加者の増加につなげるために、学校関係の移動展示終了後、図書館やキョーエイ4階など市民の集まりやすい場所での展示を行った。25年度は40回を記念して小学生児童を対象に同和カルタ大会の開催をはじめ、更なる拡充のため国立大学法人鳴門教育大学の作品の出品及びの移動展示実施を予定している。

◎項目別評価(CHECK) 1.必要性の評価 理由等所見欄 人権問題に関す ① 廃止した場合に支障が出る。 る作品づくりや人 **V** 2) 施策 の達成につながる事業である。 権文化祭の見学 人権の尊重 8 を通じて、同和問 | | ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。 題をはじめ、多様 な人権意識の啓 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。 **(4**) 発が図られる。  $\overline{ }$ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。 ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。 /10 2.有効性の評価 理由等所見欄 人権啓発•教育 市民生活上の課題解決に貢献している。 務 の推進に有効で (1) 1 事 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。 ある。 業 6 ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。 **✓** の 評 **✓** ③ 事業対象は適切である。 俪 ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。 /10 ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。 3.効率性の評価 理由等所見欄 行政•教育•関係  $\overline{}$ ① 事業実施手法は適切である。 団体の協力のも ② 事業費を削減する余地はない。  $\overline{}$ と実施しており、 8 他の方法はな  $\checkmark$ ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。 い。 ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。 | | /10 ⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION) これまでの取り組みにより人権意識・人権感覚の向上が図られ、人権教育・啓発の成果はみられるも のの、人権侵害の事象は、部落差別における差別落書きやインターネットへの不適切な書き込み等が 後を絶たず、また、障がい者問題などさまざまな人権問題においても、人権侵害の事象が発生している 課題 ことから、なお一層の人権教育・啓発が必要であり、今後も事業の継続が必要である。 今後の方向性 2 1.廃止 2.要改善 3.現状維持 4.拡充 ↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。 実施予定時期 平成26年度 月未定 • より一層の人権意識の普及・高揚を図ると共に、さらなる、参加者の増加を 図るため、周知方法の拡大、展示作品の展示箇所を増やすことを検討して 今後の いる。 改革案 どのように改革するのか